

超高性能ベースオイルの全貌

次々と常識を覆すニューテックの快進撃

☎キョクトー 0729・94・5695
日本オイルサービス 042・542・8861
H P = www.nutec-japan.com



**BNR34の純い出足が軽快に！
ストレスなく自然に一気に回る**

本誌BNR34 Nürburgringに、ニューテック「NC・41」を注入したのは春まだ浅い頃だった。以後、ニューテックが謳う数々のアドバンテージを体感するために一貫して使い続けてきた。

「継続して使うことで、さらなる効果を実感していただけるはず」と自信の笑みを見せるのは鳩谷和春（ニューテックジャパン代表）だ。

初めてのオイル交換では以前にこびりついたカーボンスラッジがきれいに落ちたこともありオイルは真っ黒だった。廃油独得のあの嫌な匂いも強かった。

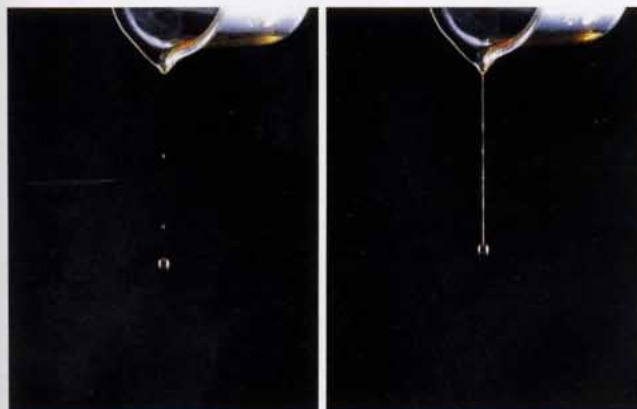
その後、5000 kmを少し越えた段階で再度交換。すると前回のような黒さはなく新品時の茶色がややくすんだ程度の変色で取まっている。おまけにあの匂いも、ほとんど感じられない。

「もったいないですね。まだ交換したばかりじゃないですか？ まったく劣化してないですよ」とメカニック。5000 kmを軽く越えていることを打ち明けると、「え!? ええっ！ 本当に……」と呆然としていたのが忘れられない。

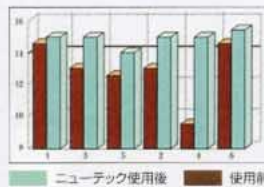
この現実を見せつけられた取材班は思わずニンマリ。鳩谷代表が語っていたあの言葉が脳裏をかすめる。

「2回目は汚れませんかからね」
この素晴らしい結果を導く原動力は、一体どこにあるのだろうか？

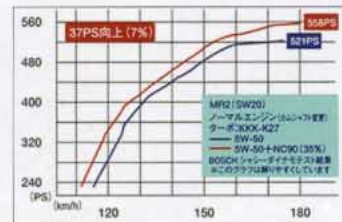
「ある程度の性能を確保するためには添加剤が不可欠です。なかでも代表格なのがポリマー（プラスチックの一種）。これの配合を変えることで粘度指数のバリエーションを達成しています。しかしそんな常識を我々が打ち破ったのです。他社製品と比較すればポリマーで10分の1以下、その他添加剤と名のつくものは殆ど使っていません。つまり添加剤に依存する現在のオイルの主流から抜け出したわけです」



右がニューテックで左が通常の化学合成油。従来の10分の1以下の超微細化分子により優れた断熱性、熱伝導性、極圧性を表現。写真のようにオイルが切れにくいのだ。



オイル上がり・下がりも極度に低減。スラッジやカーボンの生成も抑制する。またエンジン各部の効率化が達成されるため絶大なメリットを提供する



オイルの分子構造が極めて小さいボールベアリングだと考えればわかりやすいだろう。エンジンの内部抵抗を劇的に低減させハイレスポンス&パワーアップ、そして静粛性などが体感できるはずだ!

LINE UP



[NC-40]・100%化学合成油・SAE:5W-30・1万3000円/4ℓ。[NC-41]・100%化学合成油・SAE:10W-50・1万3000円/4ℓ。秀逸な性能を堪能してほしい



[NC-50]・部分合成油・SAE:10W-50・2400円/ℓ。[NC-51]・部分合成油・SAE:5W-30・2400円/ℓ。ポリマレスであることが大きな魅力だ



ニューブランド・インターセプターのギャオイル。[ZZ-31]・SAE:75W-85・5000円/2ℓ。[ZZ-32]・SAE:80W-120・5500円/2ℓ。手軽に頂点の性能を得る



新作インターセプターのエンジンオイル。[ZZ-01]・SAE:5W-35・1800円/ℓ。[ZZ-02]・SAE:10W-45・1800円/ℓ。[ZZ-03]・SAE:10W-40・1200円/ℓ



従来の外部添加剤とは根本的に違う添加剤。[NC-80]・100%化学合成油・1万2800円/ℓ。[NC-90]・100%化学合成油・7000円/ℓ。オイルそのものといえる逸品



ギャオイルシリーズ。[NC-70]・100%化学合成油・SAE:75W-90・7000円/2ℓ。[NC-71]・100%化学合成油・SAE:80W-140・7700円/2ℓ。LSDにも最適だ!

鳩谷和春(ニューテックジャパン代表)は語る。「API表示も取って外しました。API基準に沿っていただけるとは真の高性能を表現することができません。はつきりして不要!」



ディーラーへの問い合わせも多く、取り扱いを開始する店も増えている。オイル選びのひとつの基準として、ベースオイルの完成度に注目してほしいです!



添加剤への依存をやめた結果……

これまで良いオイルと呼ばれるモノは、ポリマー系添加剤が配合され、コイツが金属表面に付着したスラッジや添加剤の劣化した成分などを洗い落とすとされてきた。エンジン内部の清浄という重要な役割を果たす一方で、じつは添加剤自身が燃えてスラッジの原因になるのだ。

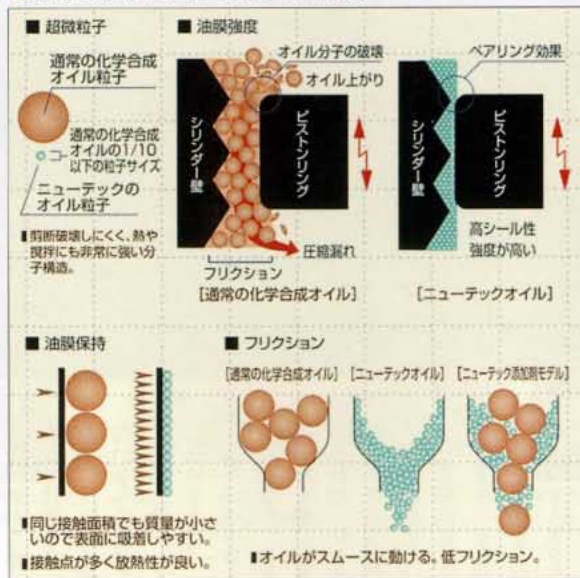
「エンジン内部に溜まるカーボンスラッジなどは添加剤が燃えて発生するものが大半です。結果、黒く変色します。つまり添加剤はある一面の性能を引き上げる一方で、大きな弊害も及ぼしています。みなさんにはぜひ理解しておいていただきたいところだ」と鳩谷代表。

さらにニューテックの核心へ迫る。添加剤に依存しない、となればベースオイルの性能が気になる。

「ベースオイルは蒸留水にたとえられます。完璧に不純物を取り除いたモノは澄みきっていておもしろく、身体にもいい。オイルもまったく同じこと。ただし、幾十もの工程と莫大なコストを要します。完璧なベースオイルを精製していたのでは30000円/ℓで販売するなど不可能です。1万円/ℓ、いやそれ以上の価格設定でないと採算は合わないでしょう」

だが、ニューテックは涼しい顔で、そん

● 独創的新世代ルブリカントの秘密



分子構造をわかりやすく説明! 右が従来のオイルで、左がニューテック。金属表面に形成される油膜をボトル表面の付着状態で表現。大きい分子では隙間だらけでとても金属表面をカバーするイメージではない。一方、ニューテックはびっしり表面を覆い尽くす。強靱な油膜、フリクション低減、シール性向上、圧縮漏れ防止など数々の素晴らしい効果が容易にイメージできるのだ



オイルの常識を覆すニューテック。今お使いのブランドに不安とか不満があるのなら、立ち止まって考えて欲しいと思う



本誌Nür号に注入。長期テストの結果は改めてレポートする。何よりも大切な心臓だからこそオイル選びは慎重にね!



最初から劇的な変化を求めるのはあまり意味がない。長く使うことで最上のパフォーマンスが得られる!

鳩谷代表の漲る自信が心底気持ちいい。

「B NR 34の走りは変わりましたか? おそらく軽くなっているはずですよ」と鳩谷代表は穏やかな笑みで問いかけてくる。明らかにフィーリングは変化していた。出だしのもつさりとした鈍さがあり感じられなかったのだ。エンジンがストレスなく自然にしかも一気に回るようなフィーリングは、決して気のせいではない。

「強靱な油膜、フリクションの劇的な低減、シリンドラーとピストンリング間のシール性向上、圧縮漏れ防止……。超微細化された分子がもたらすアドバンテージは計り知れないほど大きい。」

「我々が作り上げたベースオイルは通常の化学合成品に比べ10分の1以下の超微細化分子で構成されています。これが金属表面に均等に付着し、極めて薄く、頑丈な油膜を形成するわけです」